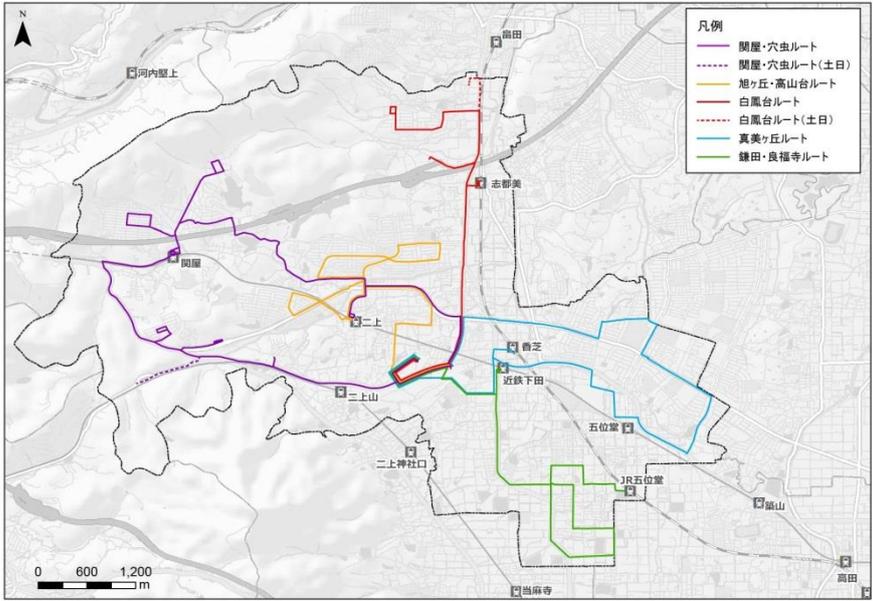


地域公共交通の運行見直し方針（たたき案） － コミュニティバス再編について －

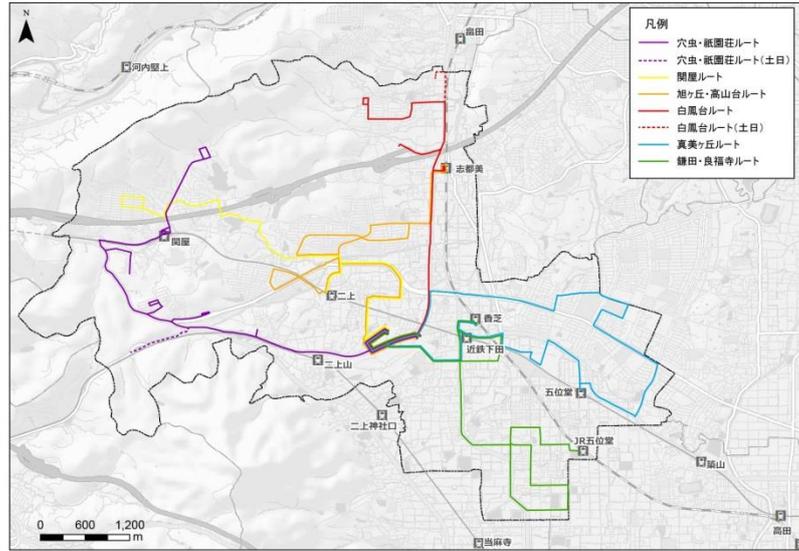
香芝市地域公共交通網形成計画（たたき案）の「6.4 将来ネットワークのイメージ（案）」のうち、③コミュニティバス軸の運行見直し方針について、以下の3案を検討している。

案1：総合福祉センターや市役所と通院や買物ニーズが高い住宅地を結ぶ放射状のネットワーク

<p>ルート図</p>										
<p>想定する運行の内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 運行ルート：5ルート ● 車両仕様と台数：ワゴンタイプ（14人乗り） 4台 <table border="1" data-bbox="456 1249 1286 1496"> <tr> <td>①関屋・穴虫</td> <td>ワゴンタイプ1台</td> </tr> <tr> <td>②旭ヶ丘・高山台</td> <td>ワゴンタイプ1台</td> </tr> <tr> <td>③白鳳台</td> <td>ワゴンタイプ1台</td> </tr> <tr> <td>④真美ヶ丘</td> <td rowspan="2">ワゴンタイプ1台</td> </tr> <tr> <td>⑤鎌田・良福寺</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ● 予備車：ワゴンタイプ1台 ● 運転者：6名 ※公休要員3名以上 ● 委託概算費用：4,950万円～ ※運転者1名当たり825万円（現状と同額） 	①関屋・穴虫	ワゴンタイプ1台	②旭ヶ丘・高山台	ワゴンタイプ1台	③白鳳台	ワゴンタイプ1台	④真美ヶ丘	ワゴンタイプ1台	⑤鎌田・良福寺
①関屋・穴虫	ワゴンタイプ1台									
②旭ヶ丘・高山台	ワゴンタイプ1台									
③白鳳台	ワゴンタイプ1台									
④真美ヶ丘	ワゴンタイプ1台									
⑤鎌田・良福寺										
<p>特徴 （メリット）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 既存のネットワークを維持することで見直し後も利用者に分かりやすい。 ● 小型車両（ワゴンタイプ）を用いることで祇園荘や鎌田地区の一部などの細街路も走行でき、利用圏域が増える。 ● 車両台数を4台にすることで各ルートの増便を図る。 ● 真美ヶ丘ルートと鎌田・良福寺ルートの両方向に乗降が可能となる。 									
<p>課題 （デメリット）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 車両を小型化することで利用者が多いルートでは利用者が乗車できない可能性がある。 									
<p>全案共通の変更点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 安全対策のためUターン箇所の一部を廃止する。 ● 国道165号の複線化に対応した経路にする。 									

案 2 : 総合福祉センターや市役所を核とし、需要に応じたサービスの強化・見直しを図ったネットワーク

ルート図



想定する運行の内容

- 運行ルート：6ルート
 - 車両仕様と台数：ワゴンタイプ（14人乗り） 3台
マイクロタイプ（29人乗り） 1台 計4台
- | | |
|----------|-----------|
| ①穴虫・祇園荘 | ワゴンタイプ1台 |
| ②関屋 | マイクロタイプ1台 |
| ③旭ヶ丘・高山台 | ワゴンタイプ1台 |
| ④白鳳台 | |
| ⑤真美ヶ丘 | ワゴンタイプ1台 |
| ⑥鎌田・良福寺 | |
- 予備車：ワゴンタイプ1台、マイクロタイプ1台
 - 運転者：6名 ※公休要員3名以上
 - 委託概算費用：4,950万円～ ※運転者1名当たり825万円（現状と同額）

特徴
(メリット)

- 既存のネットワークを維持することで見直し後も利用者に分かりやすい。
- 現在コミュニティバスの需要が高い関屋ルートでは、マイクロタイプ（29人乗り）を用いることで、利用者数をカバーできる。
- 小型車両（ワゴンタイプ）を併用することで祇園荘や関屋桜ヶ丘、狐井、鎌田地区の一部などの細街路も走行でき、利用圏域が増える。
- 車両台数を4台にすることで、関屋桜ヶ丘や狐井など利用圏域が増える。
- 真美ヶ丘ルートと鎌田・良福寺ルートの両方向に乗降が可能となる。

課題
(デメリット)

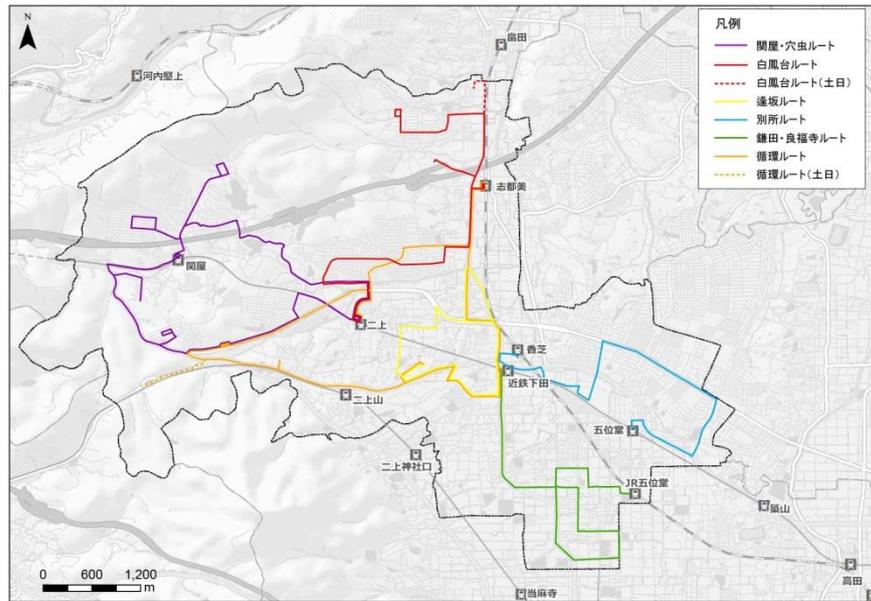
- 車両を併用することで予備車が車種ごとに必要となるため購入や維持管理の費用が掛かる。
- 車種が異なる場合は運行パターンの組み合わせに制限が出てくる。
- 車両を小型化することで利用者が多いルートでは利用者が乗車できない可能性がある。

全案共通の
変更点

- 安全対策のためUターン箇所の一部を廃止する。
- 国道165号の複線化に対応した経路にする。

案3：鉄道駅との接続や病院等の生活施設への移動を充実し、地域コミュニティの強化を図ったネットワーク

ルート図



想定する運行の内容

- 運行ルート：6ルート
- 車両仕様と台数：ワゴンタイプ（14人乗り） 4台

①関屋・穴虫	ワゴンタイプ1台
②白鳳台	ワゴンタイプ1台
③逢坂	
④別所	ワゴンタイプ1台
⑤鎌田・良福寺	
⑥循環	ワゴンタイプ1台

- 予備車：ワゴンタイプ1台
- 運転者：6名 ※公休要員3名以上
- 委託概算費用：4,950万円～ ※運転者1名当たり825万円（現状と同額）

特徴
(メリット)

- 関屋地域、白鳳台地域、鎌田・良福寺地域、真美ヶ丘地域それぞれで、最寄りの鉄道駅や買い物、病院等の生活施設に移動しやすい。
- 真美ヶ丘地域では路線バスと役割を分担したルートとし、効率的に運行できる。
- 小型車両（ワゴンタイプ）を用いることで祇園荘や関屋桜ヶ丘、鎌田地区の一部などの細街路も走行でき、利用圏域が増える。
- 別所ルートと鎌田・良福寺ルートの両方向に乗降が可能となる。

課題
(デメリット)

- 多くの利用がある総合福祉センターや市役所などには循環ルートに乗り換えが必要となる。
- 車両を小型化することで利用者が多いルートでは利用者が乗車できない可能性がある。

全案共通の変更点

- 安全対策のためUターン箇所の一部を廃止する。
- 国道165号の複線化に対応した経路にする。